

胃がんハイリスク（ABC）検診

2,600円（税込）

**胃がんの危険度が
わかります！**

次のような方には検査をおすすめします

- 胃がん家系で心配
- 胃に不安や痛みがある
- 胃がんを予防したい
- 胃の検診(バリウムや内視鏡)を受けていない
- 胃がん検診の適応年齢でない50歳未満の方

※注意: 以下の方は正しい結果がでないことがありますので
お勧めしません。

- ①胃の手術を受けたことのある方
- ②現在胃の薬を飲んでる方
- ③ピロリ菌除菌した方
- ④腎機能の悪い方

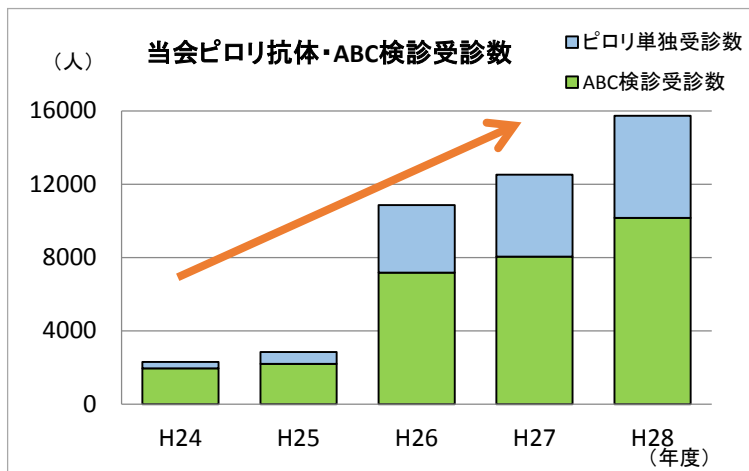
胃がんの原因と言われている「ヘリコバクター・ピロリ菌」の感染と、胃の粘膜の萎縮を調べる「ペプシノゲン検査」を組み合わせ、胃がんのなりやすさを4段階に分けて評価する検診です。

■受診者増加中！

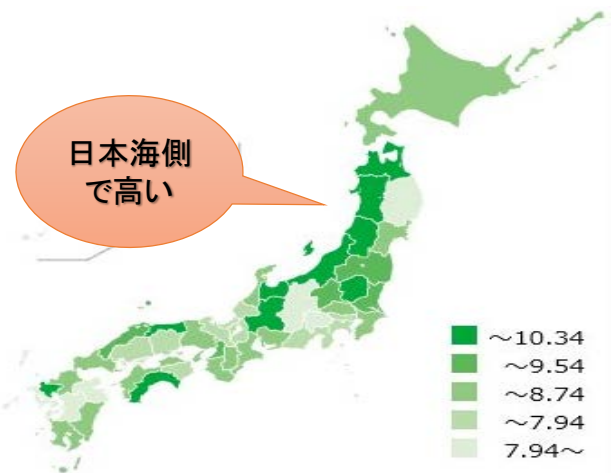
ピロリ菌単独受診者数と同様、ABC検診受診者数も増加しています。

■新潟県は胃がん死亡率ワースト上位

都道府県別 胃がん年齢調整死亡率 2015年



資料: 平成28年度ヘリコバクター・ピロリ抗体・ABC検診 当会データより



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター

■検査の判定基準表

	ピロリ菌 (-) 定量値 10.0U/mL未満	ピロリ菌 (+) 定量値 10.0U/mL以上
ペプシノゲン (-)	A群 ※B群	B群
ペプシノゲン (+)	D群	C群
過去に除菌歴のある方: E群		

- A群: 異常は認められません。過去に除菌治療を行った方は定期的に内視鏡検査を受けてください。
- ※B群: ピロリ菌の定量値が3.0~9.9U/mLの方は偽陰性の可能性もありますので、定期的に内視鏡検査をうけてください。
- B群: ピロリ菌は陽性でしたが、ペプシノゲンは陰性でした。胃がんを予防するために、消化器科で内視鏡等の精査、指導をお勧めします。
- C群: 胃粘膜の萎縮が進んでいると考えられます。胃がんを予防するために、早めに内視鏡等の検査を受けてください。
- D群: 胃粘膜の萎縮がかなり進んでいると考えられます。胃がんを予防するために早急に内視鏡等の検査を受けてください。
- E群: 過去に除菌治療を行った方は、除菌成功、不成功に関わらず定期的に内視鏡検査を受けてください。